

常任委員会

3委員会を徹底調査

こんなことを聞きました

常任委員会とは？

その部門に属する町の事務に関する調査を行い、また、議案、請願・陳情等を審査します。本町議会では、3常任委員会に分かれています。

総務委員会

交通安全、バス、庁舎管理、防災、防犯、財政、税務、総合計画、広報、コミュニティ、選挙等に関する事

文教厚生委員会

保育園、学校教育、生涯学習、スポーツ、図書館、健康、高齢者・障がい福祉、保険・年金等に関する事

経済建設委員会

道路、河川、ごみ、環境、農業、消費生活、観光、建築、都市計画、公園、上下水道、戸籍等に関する事

経済建設委員会

道路藤江線と養父森岡線は、JR東海と県公安委員会との協議に時間を要している。以上により、繰越明許費補正を行う。

令和2年度

一般会計補正予算

Q 道路橋りょう費の繰越理由は。

A 町道森岡287号線は、国の第3次補正予算で路肩整備と舗装補修工事を行う。都市計画道路緒川南北線と町道西平地西之宮線は、道路用地購入と物件移転補償の交渉に時間を要し、都市計画

令和3年度

一般会計予算

Q 公園整備事業費の委託料の増額内容は。

A 国の第3次補正予算で於大公園再整備のうち1.5haの実設計業務を行う。令和2年度予算残額と補正予算額を合せて4494万円の予定。

Q 資源ごみ回収業務委託料9658万5千円が前年度比1200万円増額の理由は。

A プラスチック製容器包装の地区回収回数を本年6月1日から毎週回収とするため増額した。

Q ごみ処理有料化による東部知多衛生組合負担金への影響は。

A ごみの減量化によって、約1千万円減額した。

Q 今後のため池耐震対策工事計画は。



▲森岡地区のぶどう畑

Q 景観形成事業補助金のぶどう畑の自然色ネットと通常ネットの差額は。

A 同等品であれば差はない。網目の太さ等の仕様により価格が異なる。

文教厚生委員会

令和2年度

一般会計補正予算

Q 障害福祉サービス事業所の不正請求をしたのは、どんな事業所か。

A 就労継続支援A型事業所で、人員基準を満たしていない等にもかかわらず請求していたことが県の監査で指摘された。

Q 超過交付額返還金の金額は。

A 障害者福祉サービス費は1012万2千円、保育園運営費は279万9千円。後期高齢者福祉医療助成事業費33万8千円と母子家庭等医療助成事業費19万2千円等である。

令和3年度

一般会計予算

Q 児童館改修工事の内訳は。

A 緒川児童館空調更新

工事は1752万円、生路児童館屋根防水改修工事は145万2千円、緒川児童館別棟トイレ改修等工事は453万円。

Q コミュニティ・スクールの事業の目的と概要は。

A 地域とともにある学校の実現を目的とし、学校運営協議会を設置して保護者や地域の声を学校運営に生かす仕組みで、子どもたちの成長を支え、学校の課題の解決方法等を話し合うもの。

Q 旧藤江保育園解体工事の経緯と理由は。

A 昭和29年に建てられ、活用用途も乏しく、老朽化による耐震性の問題もあるため、取り壊す。

Q 中央図書館開館30周年記念事業の内訳は。

A 記念イベントの講師謝礼が15万円、記念グッズ製作費が13万7千円。



総務委員会

令和3年度

一般会計予算

Q 公用車管理費の備品購入費の内訳は。

A 軽乗用車1台、PHV車1台、PHV車用充電スタンド2機を購入。



▲ PHV (プラグインハイブリッド自動車)

Q 三世代近居等定住促進事業で、中古住宅は対象か。また、子ども数による加算はあるか。

A 中古住宅も対象。子ども数による加算はない。



Q 結婚新生活支援事業は単年度事業か。

A 2年程度様子を見る。

国の地方少子化対策重点交付金を活用しており、国の状況も見て検討する。

Q ボランティア活動支援交付金の対象事業は。

A 地域の公共的な課題解決のための事業、地域の実施団体等での人材発掘・育成に関する事業、コミュニティ組織の強化・地域のネットワーク化に関する事業等が対象。

定住自立圏の形成に関する協定の締結

Q 締結から10年間で重点的に取り組んだ主な分野は。

A 刈谷豊田総合病院と圏域内の診療所をネットワークで結び、機能分担とかかりつけ医の定着を図った。図書館での相互貸し出しや公共施設利用料を市町内料金で利用可とした。また、コミュニティバスの刈谷市への乗り入れやバスロケーションシステムも導入した。

報告します!

政務活動費



政務活動費とは？

町政の課題および町民の意思を町政に反映させる活動等に必要な経費の一部を補助するために町から支払われる費用のことです。本町では条例により、毎年度、会派の所属議員1人あたり月5,000円を交付しています。

今年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、町における感染症対策の財源の一助とするため、半年分の計48万円の政務活動費を議員間の申し合わせにより返還することとしました。

(円)

会派名	交付額 (A)	支出額 (B)	内 訳						町への 返還額 (A) - (B)
			調査 研究費	研修費	広報 広聴費	会議費	資料 作成費	資料 購入費	
親和会[4~7月 5人、 8~3月 4人]	260,000	42,966	0	0	0	0	0	42,966	217,034
清流会[4人]	240,000	22,000	0	0	0	0	0	22,000	218,000
公明党東浦[2人]	120,000	24,000	24,000	0	0	0	0	0	96,000
庶民倶楽部 (山田眞悟)	60,000	30,000	0	21,520	0	0	0	8,480	30,000
高志会(田崎守人)	60,000	0	0	0	0	0	0	0	60,000
ひがしうらの風 (長屋知里)[8~3月]	40,000	8,000	0	0	0	0	0	8,000	32,000
小松原英治	60,000	0	0	0	0	0	0	0	60,000
日本共産党ひがしうら (杉下久仁子)	60,000	5,600	0	0	5,600	0	0	0	54,400
大川晃	60,000	12,000	0	0	0	0	0	12,000	48,000
合 計	960,000	144,566	24,000	21,520	5,600	0	0	93,446	815,434

活動期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日